

# 「トレーニング指導」発刊によせて

日本トレーニング指導学会代表世話人  
日本トレーニング指導者協会調査研究委員長

長谷川 裕

## 1. 日本トレーニング指導学会設立の経緯と学会誌の発刊

日本トレーニング指導者協会（JATI）の「トレーニング指導者行動規範」で自己規定したトレーニング指導者とは、「対象者や目的に応じた科学的根拠に基づく適切な運動なプログラムを作成し、これを効果的に指導・運営・管理するための知識と技能を有する専門家」です。この中で目指すべきトレーニング指導者の姿として明確化されているのは、「常に進歩、発展するスポーツ医学に関する情報の収集に努め」ること、「科学的根拠に基づく適切なトレーニングプログラムの作成・提供に責任を持ち、安全で効果的な実技指導に努め」ること、そして「経験や勘だけに頼るのではなく、定期的に適切な測定と評価を行い、測定結果に基づいたトレーニングプログラムの作成や実技指導に努め」ることです。<sup>1)</sup>

また、JATIの調査研究委員会は、「トレーニング指導に関する研究、実態調査等を行い、その成果を発表するなど、各種関連情報の収集・提供を行い」「国内外の情報を積極的に収集しつつ『日本発』の知見をまとめて公式声明として発すること」をその事業目的に掲げています。

以上の基本姿勢に基づいた活動目的を実現するため、2011年第6回JATI研修・交流会において初めて研究・実践発表会が開催されました。集まった科学的研究と実践報告に対して活発な意見・情報交換がなされ、参加した会員から、こうした研究・実践発表の場をJATIとしてさらに発展させるべきであるという声が多数寄せられました。

こうした経緯を踏まえ、JATIのトレーニング指導に関する科学的研究を発展させるという基本姿勢をさらに明確化し、独自の研究と実践に関する情報交換を活発化し、広くオープンな場で討議し、その成果を広く協会の内外に発表していくためには「学会」を設立することが最も効果的である、という気運が関係者および理事会内部で高まり、2012年8月19日に開催された第36回理事会において「日本トレーニング指導学会」の設立が正式決定されました。

そして2013年第1回、翌年第2回の学会大会を経て、本年第3回学会大会を迎えるにあたり、ここに日本トレーニング指導学会の学会誌「トレーニング指導」第1巻第1号を発刊する運びとなりました。これを機に「日本学術会議協力学術団体」としての申請に向けた学術研究活動がより一層活発化されることを願っています。

## 2. 学会誌「トレーニング指導」の位置づけ

本学会は、研究者による純粋な学問的関心から生まれた学会

ではなく、「トレーニング指導者という現場の実践家の組織がその科学性を追求する過程で必然的に生まれるべくして生まれた学会」<sup>2)</sup>という他の学会にはない特徴を持っています。したがって、その研究対象や方法は、バイオメカニクスや生理学といった基礎科学のそれとは異なり、「指導という実践的活動に始まりその成果に帰結する社会的行動の質的向上」<sup>2)</sup>を直接目指すものでなければなりません。また、「個別種目の技術や戦術ではなく、主として体力面のトレーニング指導がその対象」となります。<sup>2)</sup>すなわち、トレーニングによって身体に生じる変化や個別要素の因果関係の解明ではなく、どのような体力面のトレーニングプログラムや指導のあり方がスポーツ選手の競技力向上や一般人の健康・体力増進等に貢献する効果的トレーニング指導となり得るのか、という知識を得ることを常に研究目的の視界から外すことはできません。個別要素の因果関係の単なる寄せ集めではこうした課題に応えることは困難であると思われます。

こうしたことから、トレーニング指導学会には、既存の関連学会とは趣の異なる独自の価値の追求とそれに見合った研究対象と方法論の思い切った発想の転換や挑戦が求められます。

現実のトレーニング指導現場において解決を迫られる問題の多くは、個別的であり、多要因が関連する複合的であり、変動的であり、全体的であり、経験的であり、その多くは再現性に乏しく、トレーニングとその結果が予知できる「明示的」なものだけではなく、予知できない「非明示的」なものも含まれ、トレーニング指導過程においては予見できなかった「創発的」作用や発見が得られることもあります。<sup>3)</sup>いかにこうした問題を捉え、解決していくのか、こうした困難だけれども、チャレンジしがいのある課題に真正面から取り組んだ論文をどしどし投稿して下さい。

学会誌「トレーニング指導」が、「難しいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことを面白く、面白いことをまじめに、真面目なことを愉快地に、そして愉快なことをいっそう愉快地に（井上ひさし）」研究していくために役立つことを願っています。

## 文献

- 1) 日本トレーニング指導者協会ホームページ「行動規範」  
<http://www.jati.jp/about/code.html>
- 2) 長谷川裕、トレーニング指導の現場で役立つ“実践的”科学研究を推し進めよう JATI EXPRESS, 32:18-20, 2012.
- 3) 村木征人、トレーニング理論とその方法、日体協公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅲ、2011